

## 平成 28 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(共和地区)

開催日時	平成 28 年 11 月 16 日 (水) 午後 7 時から午後 9 時 15 分	天気	くもり
場所	共和のもりセンター 多目的室		
町民参加者	男 15 人 女 6 人 (20 代 2 人、30 代 1 人、60 代以上 18 人)		
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、総務防災課長、参事兼農林課長、財務課長、都市整備課長、定住対策課長、事務局 2 人		

### 出席者から出された主な意見や提案

#### 《テーマ：防災と生活道》

○共和トレーニングセンターが避難場所になっているが、トイレを洋式化していただきたい。また、天井の蛍光灯が切れている部分もあるので交換してもらえないか。小山町の広報に、学校の PTA 行事で小学校に実際に泊まる体験をした記事があった。小山高校では避難所運営ゲームということを体験したということも載っていた。共和地区でも一度避難所の体験などをした方が良いのかもしれない。

○路上に木の枝が覆いかぶさっている場所がある。雨が降ったり風が吹いたりして危険な箇所については点検をしていただかないといけないと思う。また、道路が狭い上に山側に側溝がある箇所がある。落ち葉が側溝にたまってしまう場所があり、道路が狭いのですれ違う時に側溝にはまり車輪を落として出てくるのが出来なかったという事例が先日あった。側溝すべてに蓋をする訳にはいけないと思うが、すれ違う際のポイントには蓋をするなり何かしらの対応をしていただけた方が良くと思う。落ち葉が道路上に落ちているとすべりやすいので、地域で清掃活動をするが、その際に片付けやすくするため舗装部分を少しでも広めてもらいたい。

#### 《テーマ：定住対策》

○定住対策課で作成した暮らしの便利マップというものがあるが、三保・清水・山北はあるが共和が入っていない。生活する上で便利なスポットをまとめたものとなっているので、便利などころがない共和が入っていないのは当然かもしれない。文教大学が作成したマップには、共和には何もなくて多くの宝があるとなっている。共和地区に外から移住してくる人たちは便利だから移住する訳ではないと思う。最近 3 人の若者が移住してきたが、移住してきた人達が定住し、永住するためには地域のサポートが必要だと思う。

《テーマ：町政全般》

○獣の被害を最小限にするためには個人では限界があるので行政にもしっかりと対応してほしい。  
ヒルやダニなど目には見えづらいものも山からだいぶ下りてきている。ヒルは松田町などでもだ  
いぶ広がってきているので、町として広がらない様に対応していただきたい。